

03.カヤックと蛍観賞で体験した自然



ランカウイ島は自然の力が圧倒的な存在力を示す。その中でも原始のマングローブ樹林が島の北側に広がっている。生態上、マングローブは、その強い生命力と繁殖力により、その範囲を常に広げ、多種多様な生命体の基盤を形成している。そんな圧倒的スケール感の中にできあがるマングローブ樹林の隙間を、カヤックで上流へと進んでいく。マングローブ樹林のみならず、地形状、無数の奇岩が点在し、その起伏に富んだ自然環境を味わう上でもカヤックは最大のツールといえる。オールひとつで水面を滑るように進んでいく光景は感動的である。

又、自然を感じる上での体験として蛍観賞が挙げられる。首都のマレーシアから車で2時間ほどのところに、蛍の生息地で有名なクアラセランゴールがある。月明かりの下、船上の両岸に無数の蛍が乱舞する。日本のゲンジ蛍などと違い、発光する点滅間隔は早く、体長は驚くほど小さい。無限に輝くひとつひとつの蛍と、それらを含む光景そのものが、いつしか背景の星空と同化する。その瞬間、距離感がなくなり、宇宙観を感じる感銘を受ける。

小柳 実